

チョー（長・跳・超）研!!

長研通信

梅雨が明けて、夏本番！
水分補給をこまめに行い、夏を楽しみましょう。



第4号 令和5年7月25日

文責 教育経営部組織マネジメントⅡ②チーム

組織マネジメントⅡ②チームを紹介します。

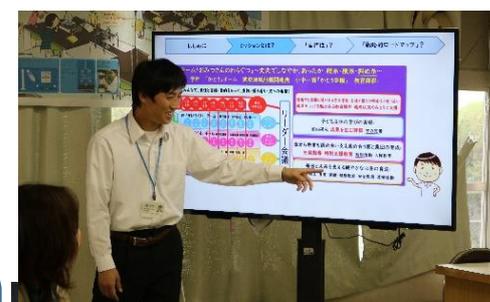
今回長研通信を担当する組織マネジメントⅡ②チームは、小学校所属の計3名のチームです。共通テーマは、「校内組織の活性化」と「ロードマップで PDCA サイクルの視覚化」です。所属校や地域の教育課題の解決に資するため、協議を通して学びを深めながら研究を進めています。

6・7月に実施された研修の一部を紹介します。

①所属校へ訪問し、研究に関する働きかけを行っています。

プロジェクト研修では、所属校の経営課題に応じて、「人材育成」「組織の機能化・活性化」「校内システムづくり」等、研究テーマを決めて実践を行います。その研究の取り掛かりとして、それぞれの所属校にて、自身の研究計画の説明を行い、実証会議に参加する等、研究をスタートしているところです。また、研究に関する先進校の取組に学ぶため、視察研修も行っています。

組織マネジメントの研究では、所属校の先生方のご協力をいただきながら実証を進めていきます。今後も現場の先生方の声を第一に、学校の課題解決を目指して、研究を行っています。



②自主研修の企画や運営の準備を行っています。

自主研修では各チームで協議を行い、テーマや内容を絞り込んでいます。「若年教員に挨拶や電話対応など正しく教えられるように接遇マナーについて改めて学びたい。」「様々なトラブルにも迅速に丁寧に、そして正確に対応できる危機管理の知識・技能をもっと向上させたい。」等、研修員からは様々な意見が挙がってきています。今後は、各チームで内容の決定、講師の選定等についてさらに具体的に進めていきたいと思えます。



③学校経営参画ミドルリーダー養成講座を聴講しました。〔7月5日(水)〕

福岡教育大学教職大学院教授 鬼木務先生による「ミドルリーダーのリーダーシップ」と題した講義を聴講しました。

学校におけるミドルリーダーとは「よりよい学校、子どもの成長、同僚や自分自身の成長をめざして、自分のミドルリーダーとしての役割を自覚して、行動する人」であることという言葉が印象に残りました。また、メンバーの意識に変化を促す「リーダーシップ」と体制づくりや PDCA サイクルを回す「マネジメント」は車の両輪のようなもので、ビジョン達成に向けて2つを維持・発展させていくことが大切であることを学びました。

また、元九州大学教授の三隅氏が提唱された「PM 理論」（「P」目標達成機能、「M」集団維持機能）を基に演習を行いました。リーダーシップの発揮についてチェックリストを活用して自分自身を振り返り、自分の持ち味や課題を再発見することができました。

「今後も、『学び続ける教師』でありたい。」と強く感じた研修となりました。